

たつの市文化財保存活用地域計画とは

たつの市では、清流揖保川や瀬戸内海の豊富な水環境をはじめとした豊かな自然の恵みのもとに、人々が暮らしを営み、北前船などの水運や山陽道（筑紫大道・西国街道）・美作道（出雲街道・因幡街道）などの街道・古道を介して他地域と交流する中で、さまざまな歴史文化が育まれてきました。

指定、未指定にかかわらず村の祭り・行事、寺社などの古い建築物、道端の地蔵や大きな木、鎮守の森、古道や遺跡、民間説話や郷土料理など、受け継がれてきた数多くの歴史文化遺産があります。

これらの歴史文化遺産の保存・活用に必要となる体制を整え、保存・活用と市全域を捉えた観光・産業・教育等と連携した多様な歴史文化の継承と、それらに支えられた本市の歴史文化のより一層の魅力向上を図ることを目的に作成します。

- ★作成にあたり、歴史文化遺産を把握し、歴史文化遺産データベースの作成並びに今後の詳細調査の資料とするために自治会及び企業にアンケートを実施しました。
その結果について報告いたします。

たつの市文化財保存活用地域計画にともなう自治会アンケート調査の結果

- 対 象：215 自治会（市内 231 自治会のうち施設系の自治会を除く）
□実施期間：令和 6 年 8 月末～9 月 25 日
□設 問：① 自治会の区域に所在する歴史文化遺産
② 現在、自治会で行われている古くからの村の行事
③ 自由意見（自治会での歴史・文化に関連する取組や課題など）

実 施 結 果

- 回収数・回収率：（回収数）164 自治会・（回収率）76.3%

表 1 地域別の回収率

	新宮	龍野	揖保川	御津	合計
配布数	49	114	33	19	215
回収数	42	80	27	15	164
回収率	85.7%	70.2%	81.8%	78.9%	76.3%

設問① 自治会の区域にある歴史文化遺産（回答数：137 自治会、回答割合：83.5%）

- ・回答のあった 137 自治会（83.5%）のうち 27 自治会（16.5%）は「特になし」という回答。
- ・回答された歴史文化遺産は合計 1,134 件（累計：重複回答の整理なし）。30 件を超える歴史文化遺産を回答した自治会もあった。平均回答件数は 8.3 件／自治会。

- ・類型別の回答数は、「①祭り・行事」が455件と最も多く、「③神社・お寺・お堂・祠」は267件、「④石造物・仏像・書画」は144件。
- ・重複してあげられている歴史文化遺産を整理（郷社の祭り・行事など）すると、回答された歴史文化遺産の件数は1,079件となる。類型別の件数の傾向は変化なく、「①祭り・行事」が最も多く409件、「③神社・お寺・お堂・祠」は264件、「④石造物・仏像・書画」は142件。

表1 類型別の回答件数

分類	回答件数	重複整理後の回答件数
①祭り・行事	455	409
②郷土料理・行事食	18	18
③神社・お寺・お堂・祠	267	264
④石造物・仏像・書画	144	142
⑤古文書・絵画	35	35
⑥古い建物・構造物	60	60
⑦遺跡・旧跡	87	86
⑧動物・植物・地質鉱物	49	46
⑨上記にあてはまらないもの	19	19
合計	1,134	1,079

※類型別の集計にあたっては、明らかに他と異なる類型で回答されている場合は修正するなど（石造物を⑨で回答している時は④に移す等）、一部調整を加えた。

設問② 自治会の年中心事（回答数：137 自治会、回答割合：83.5%）

- ・合計724件の年中心事の回答があった。
- ・前の設問にあげていない年中心事も243件（重複整理後の件数）があげられる。
中には、クリーン作戦などの新しい行事や、自治会役員会なども含まれている。

設問③ 自由記述（回答数：58 自治会、回答割合：35.4%）

- ・58自治会（35.4%）から自由記述の回答。
- ・意見の内容は116件に整理できる。歴史文化遺産の保存・活用にあたっての「課題」に関する意見が合計69件、たつの市への「要望」に関する意見が合計19件、「これまでの保存・活用の取組」の説明が6件、今後の「保存・活用の取組意向」が9件。なお、「その他」は、他の設問の補足説明に関する事項等である。
- ・「課題」では、子どもの減少や高齢化、氏子離れなどによる「担い手不足」が27件。この他、祭り・行事の廃止・縮小・簡略化や賑わいの減少などの歴史文化遺産の「喪失・変容等」が10件、人口減少や氏子の減少に伴う「資金不足・資金調達困難」が9件、歴史や文化に無関心な住民の増加などの「住民認知・意識・合意形成」が9件、建築物等の「老朽化・荒廃」が7件とあげられた。
- ・「要望」では、建築物等の補修や維持管理、伝統芸能の後継者育成に対する「財政的支援」が4件、自治会や個人が所有する古文書・民具やお堂の由来の調査、専門的な知識・技術が必要な補修等への支援といった「調査・技術的支援」が4件、大切にしたい歴史文化遺産の活用のためのアクセス道や便益施設等の「施設整備・環境整備」が3件、祭りや行事への参加者を増やすための「情報発信・意識啓発」が2件、自治会や個人が所有する「文書類の管理」が2件あった。
- ・この他、現在自治会で実施している文書類のデジタル化整理の取組や、保存・活用

の取組意向として、歴史文化遺産の調査や、マップづくり、説明板の設置等をあげている自治会も見られた。

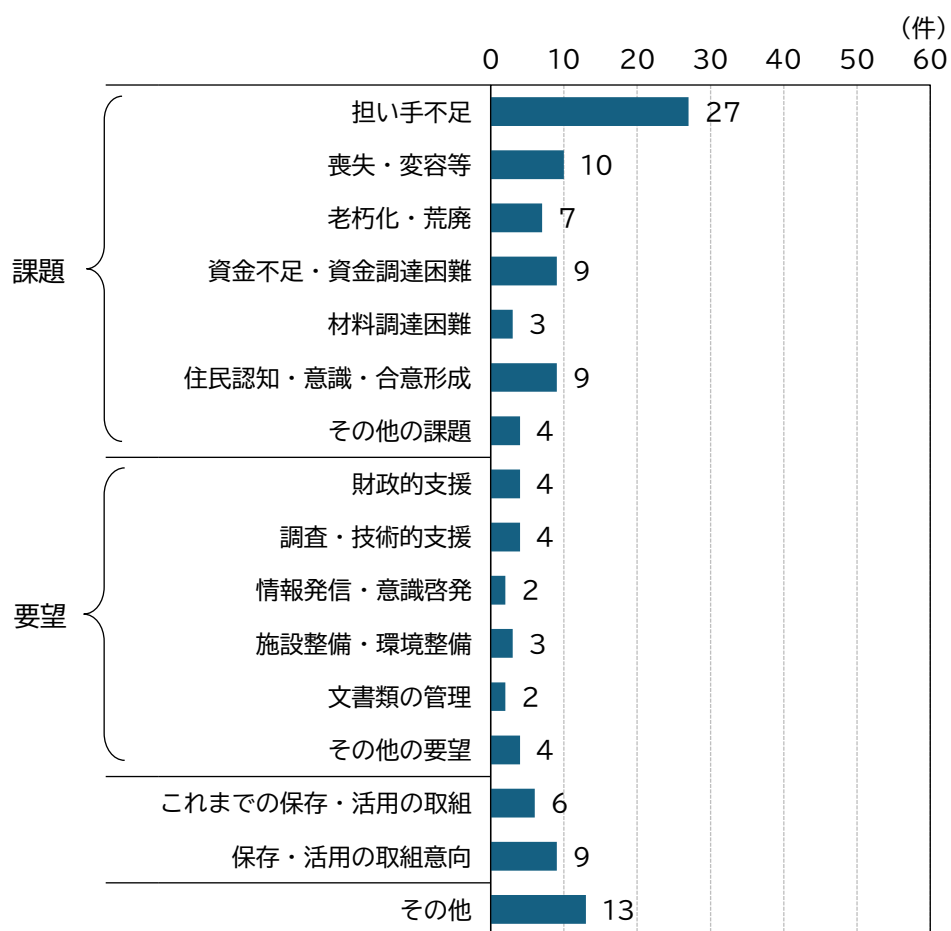


図2 自由意見の内容の分類

たつの市文化財保存活用地域計画にともなう企業アンケート調査の結果

- 対 象：市内の企業 合計：326 社うち、
 地場産業関連企業：211 社（素麺 58 社、醤油 7 社、皮革 146 社）
 その他一般企業：115 社
- 実施期間：令和 6 年 9 月 3 日～10 月 1 日
- 設 問：1. 企業情報について
 ① たつの市域での創業年
 ② 業種及び主な事業・営業等の内容
 ③ 企業が所有・保管する歴史文化遺産の把握と公開・活用の可能性
2. 歴史文化遺産との関わりについて
 ④ これまでの歴史文化遺産との関わり
 ⑤ 今後の歴史文化遺産との関わり意向
 ⑥ 自由意見

実 施 結 果

■ 回収数・回収率：（回収数）91 社・（回収率）27.9%

表 1 企業アンケート調査の回収率

	素麺	醤油	皮革	その他一般	合計
配布数	58	7	146	115	326
回収数	15	5	23	48	91
回収率	25.9%	71.4%	15.8%	41.7%	27.9%

設問①② たつの市域での創業年及び業種等（回答数：89 社、回答割合：97.8%）

- ・回答のあった企業のたつの市域での創業年は、昭和 40～60 年代が 32 社（36.0%）と最も多く、昭和 20～30 年代が 26 社（29.2%）と続き、昭和中期～後期創業の企業が多い。
- ・その他一般企業の創業年が古いものは、和菓子店が多い（江戸期 2 社、明治期 2 社）。

表 2 回答企業のたつの市域での創業年

	素麺	醤油	皮革	その他一般	合計
江戸	0	0	0	2	2
	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	2.2%
明治	2	3	0	4	9
	14.3%	60.0%	0.0%	8.5%	10.1%
大正	2	0	1	4	7
	14.3%	0.0%	4.3%	8.5%	7.9%

昭和初期（戦前）	1	2	0	3	6
	7.1%	40.0%	0.0%	6.4%	6.7%
昭和 20～30 年代	5	0	10	11	26
	35.7%	0.0%	43.5%	23.4%	29.2%
昭和 40～60 年代	3	0	10	19	32
	21.4%	0.0%	43.5%	40.4%	36.0%
平成	1	0	1	3	5
	7.1%	0.0%	4.3%	6.4%	5.6%
令和	0	0	0	1	1
	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	1.1%
不明	0	0	1	0	1
	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%	1.1%
合計	14	5	23	47	89

設問③ 所有・保管する歴史文化遺産の把握と公開・活用の可能性

（回答数：47 社、回答割合：51.6%）

- ・所有・保管する歴史文化遺産が「ある」という企業は 16 社で、その件数は 33 件。
- ・建築物や古文書、歴史資料、民具、遺跡など多岐にわたる。
- ・建築物は 6 件で、うち 4 件は現在も使用中で公開活用は難しく、残り 2 件のうち 1 件は現在も見学受付をして一部を公開活用している。もう 1 件は修景後の公開を検討しているとの回答。
- ・その他、公開・展示等の活用可能な歴史文化遺産としては、かつての素麺製造の写真や農機具があげられた。

表 3 企業が所有・保管する歴史文化遺産の有無

	素麺	醤油	皮革	その他一般	合計
所有・保管する 歴史文化遺産が「ある」	3	3	1	9	16
					34.0%
所有・保管する 歴史文化遺産は「ない」	5	1	9	16	31
					66.0%
合計	8	4	9	25	47

設問④ これまでの歴史文化遺産との関わり （回答数：49 社、回答割合：53.8%）

- ・関わりが「ある」という企業は28社で、62件の関わりの内容があげられた。（同じ歴史文化遺産に複数社が関わるもの、異なる関わり方をするものがあるため、歴史文化遺産としては47件あげられました。
- ・関わりの内容は、年中行事等への協賛・支援が34件と最も多く、寺社建築の修理費の寄付が15件と続いており、歴史文化遺産の保存・活用の中でも特に保存・継承の面において、これまでは企業等からの資金（寄付・寄贈・協賛等）が大きな支えとなってきたことがうかがえる。

表5 これまでの企業と歴史文化遺産との関わりの有無

	素麺	醤油	皮革	その他一般	合計
関わりが「ある」	4	2	3	19	28 57.1%
関わりが「ない」	2	1	8	10	21 42.9%
合計	6	3	11	29	49

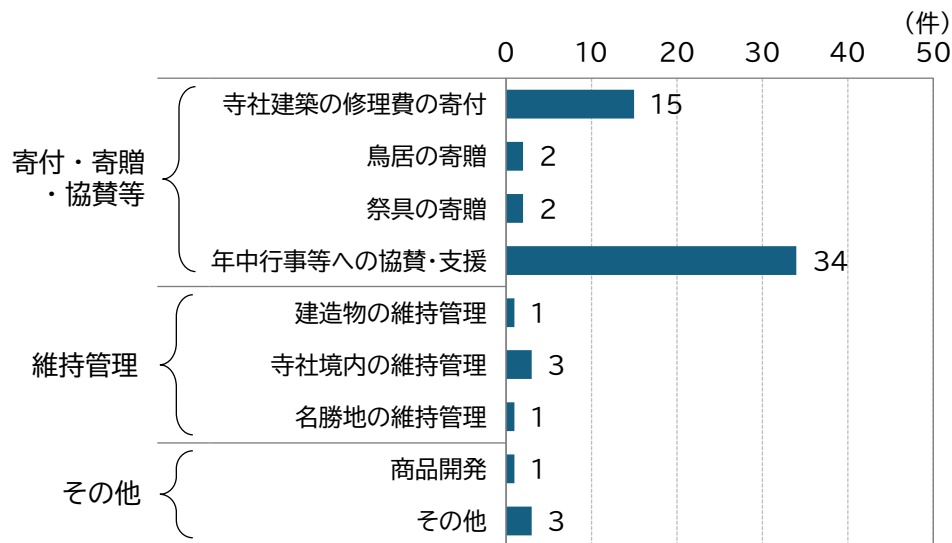


図1 これまでの企業と歴史文化遺産との関わりの内容

設問⑤ 今後の歴史文化遺産との関わり意向 （回答数：42 社、回答割合：46.2%）

- ・91社のうち42社（46.2%）から、今後の歴史文化遺産との関わり意向の回答。
- ・関わり意向が「ある」という企業は25社で、41件の関わりの内容があげられた。このうち35件が「これまで通り」やこれまでと同内容の回答であったが、これまでと異なる関わりを考えている企業や、必要であればなんでも協力したいという企業もあった。

表7 企業の今後の歴史文化遺産との関わり意向の有無

	素麺	醤油	皮革	その他一般	合計
関わり意向「ある」	3	2	3	17	25 60.0%
関わり意向「ない」	2	1	6	8	17 40.0%
合計	5	3	9	25	42

設問⑥ 自由意見（回答数：36 社、回答割合：39.6%）

- ・回答社のうち 27 社から具体的な意見の記載がありました。（残り 9 社は「特になし」や感想）
- ・意見の内容は 35 件に整理できる。歴史文化遺産の保存・活用に関する「要望・提案」が 14 件と多くあった。
- ・「要望・提案」では、人材確保のための若い世代へのアピール、たつもの特産品としての差別化やブランディング、コアな歴史ファンに響く PR 活動、マップ作成などの「情報発信」の充実に関する要望・提案が 8 件と多い。その他の「施設整備・環境整備」に関する要望・提案では、展示施設の整備、宿泊施設の整備などの意見があげられた。
- ・「保存・活用の課題」では、産業の低迷と若い人材の不足、宿泊施設が少ないことや、地場産業を味わってもらえる場所が少ないこと、観光客による交通渋滞対策、所有する歴史文化遺産の維持・管理が大変であること、文化を大切にする意識の薄れなど、産業に関連した幅広い課題があげられた。
- ・「保存・活用の考え方・大きな方向性」では、次のような意見があった。

➤地場産業を継承・発展させるためには、時代の社会状況に即した経営形態を探究しなければならないと思う。そうでないと工程が長いと若者が嫌がり、従業員も雇えず、いずれ廃れてしまう。文化遺産は、人々（一般の庶民）の日々の地味な暮らしの積み重ねに通底するものごとが昇華されて遺されたものを指すものである。若者たちがそれまでの歴史生活の上に将来に向かって生きていけるような社会にして欲しい。国の大きな政策にも関わることはあるが。「今だけ、金だけ、自分だけ」という新自由主義下の政策では、今まで蓄積されてきた文化の上に新しい文化は遺っていかない。（素麺 A 社）

➤皮革業の現状は低迷期であり、将来の見通しも明るいものではない。次世代を託す若い人達も育っていないし、皮革業に魅力を感じてくれている人も少ないと思う。皮革業のこれからを考えていくな、全体で活性化に繋げていけるもの、個々の動きではなく、それぞれの企業の強みを活かして協力し合って進めていけるもの、もっと 2 次産業を強化できるもの、また企業としてこれまで製造し問屋に得るという仕組みではなく、新しい販路の開拓を全体で考えていく場を作っていくこと、他の異業種とのコラボ、若い人たちが希望と関わりたいと思える土台を作り上げていくことにできるだけ早く取り組んでいくことだと思う。（皮革 B 社）

- 歴史文化遺産で外から人が来てもらえるような、また、たつの市から外への人の流出を防ぐことができるような、シンボルのようなものがあればと思う。そのようなまちづくりを期待している。（その他一般C社）
- 歴史や文化はたつの市の強みと考えるので、まず人を集めることを念頭に、表層的な飲食店の開業のみならず、メディアを通じて多角的に文人の発掘や精神的物語など文化の深耕を図って欲しい。（その他一般D社）
- 歴史があるから今があることへの感謝と、ドキドキわくわくする文化を動かす発信を行うことが大切である。（その他一般E社）

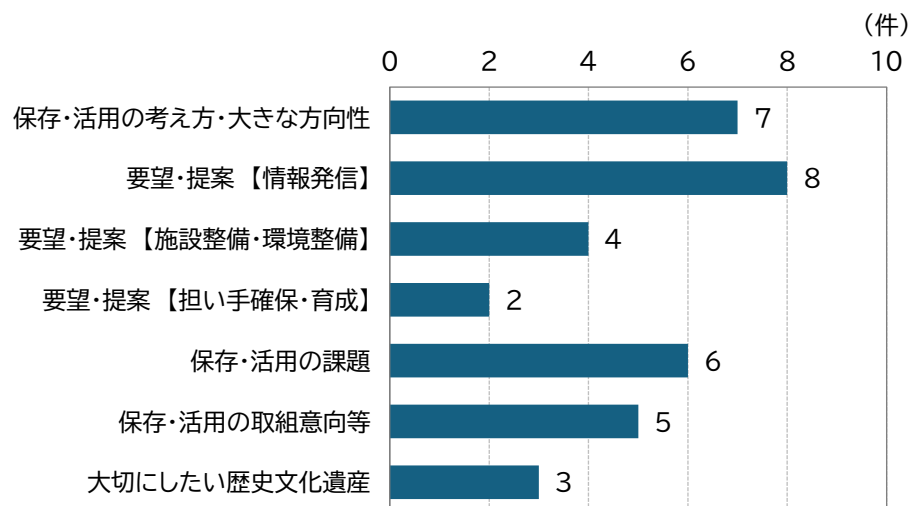


図2 自由意見の内容の分類